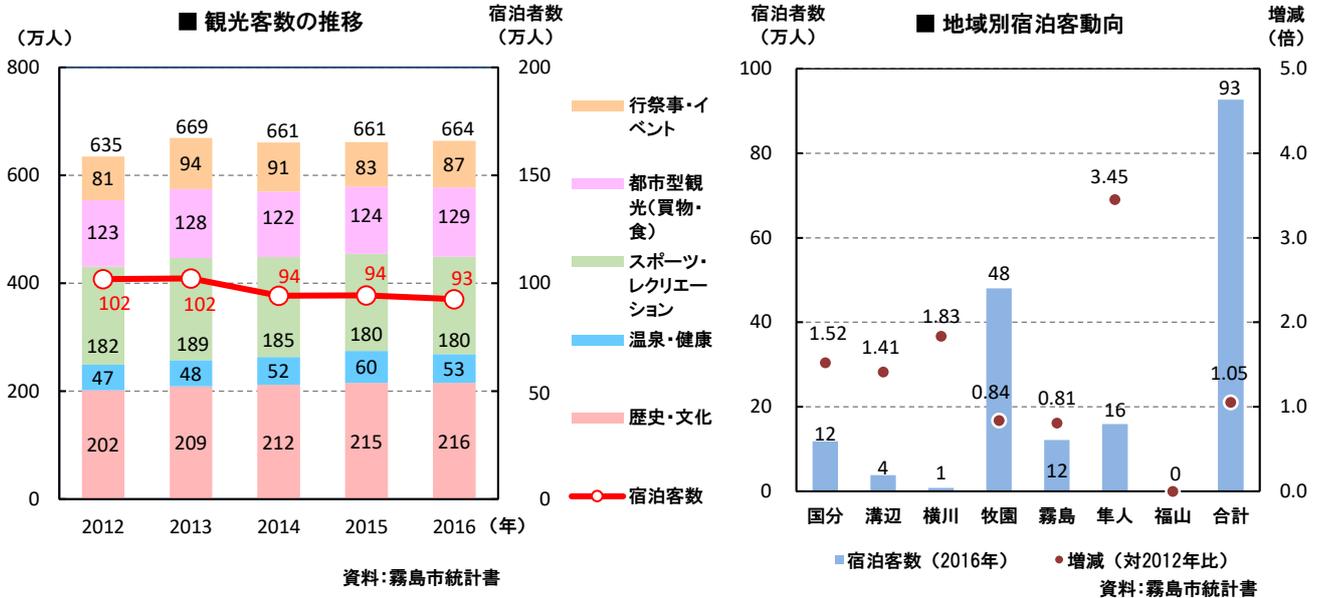


### (4) 観光動向－観光客は微増しているが、宿泊客は横ばい

本市の北部には日本で最初に国立公園に指定された霧島山を、南部には錦江湾に浮かぶ雄大な桜島を望むことができ、海・山・川等の恵まれた自然や温泉を活かした観光資源が多くあり、本市を訪れる観光客の多くは県外からの来訪となっています。

観光客数は平成28年(2016年)には年間664万人で増加傾向にありますが、宿泊客数は93万人程度で横ばい傾向が続いています。近年は外国人観光客数が増加傾向にあります。



### (5) 農林漁業の動向

面積を見ると本市全体に対して、森林は63%、耕地(田・畑)は12.9%を占めています。

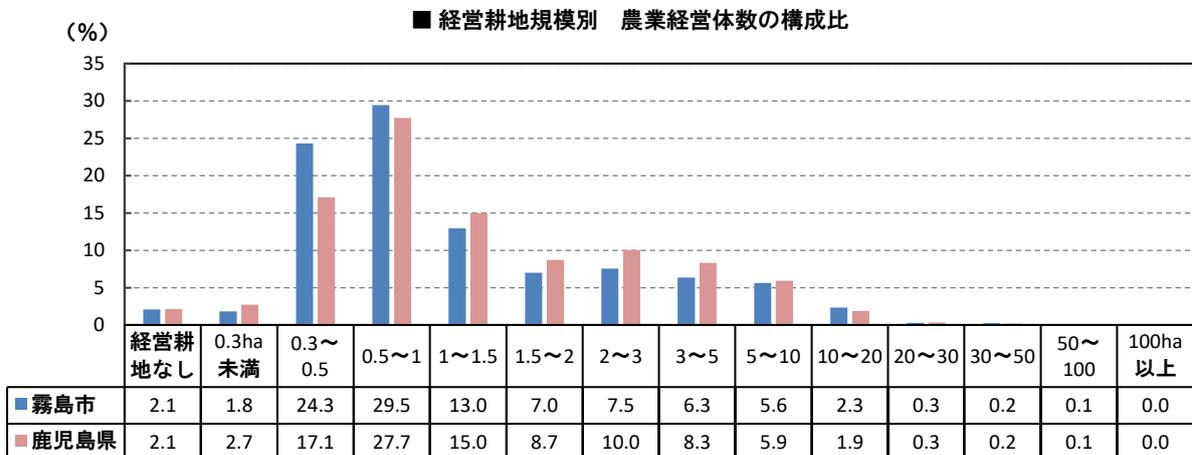
経営耕地面積を見ると、0.3~1.0haの小規模経営が過半数を占めています。

#### ■ 耕地・森林面積(2017年)

	面積(ha)	割合(%)
総面積	60,318	100.0
耕地	7,796	12.9
田	3,335	5.5
畑	4,461	7.4
森林	37,998	63.0
その他	14,524	24.1

※「その他」は総面積から耕地、森林を除いたもの

資料:霧島市統計書



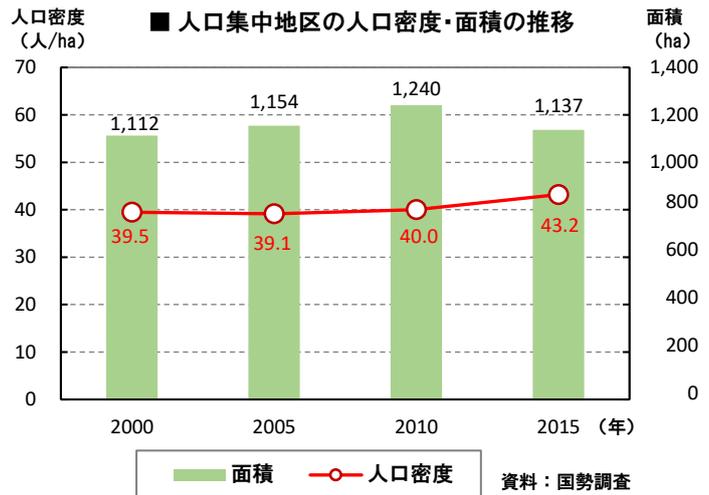
### 2-3 都市構造・都市環境

#### (1) 人口集中地区一面積が縮小

平成27年(2015年)の人口集中地区<sup>※5</sup>の面積は、平成22年(2010年)に比べ減少し、平成17年(2005年)とほぼ同じ規模となっており、縮小化が進んでいます。

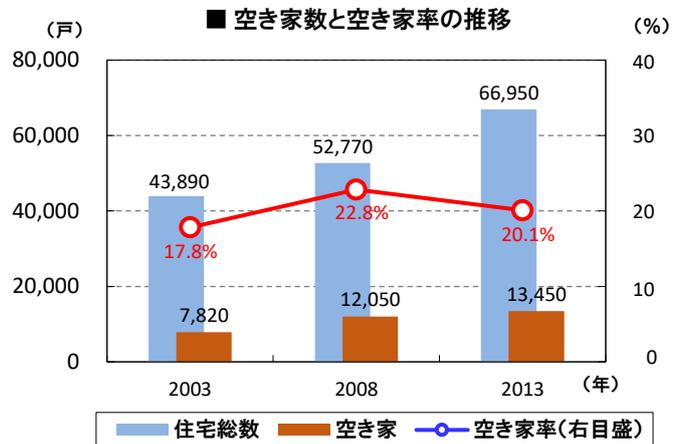
同地区の人口は平成22年(2010年)の49,644人から平成27年(2015年)で49,115人と約500人程度減少しています。

また、人口密度は43.2人/haで、平成22年(2010年)に比べて増加しています。これは、人口集中地区の面積が大幅に減少したことによるものです。



#### (2) 空き家一戸数が増加

平成25年(2013年)の空き家数は13,450戸あり、平成20年(2008年)からの5年間で1,400戸の増加となっています。住宅総数が増加したため、平成25年(2013年)の空き家率は、20.1%で、平成20年(2008年)より低下しています。



#### (3) 地価動向一地価の下落傾向が続く

市内の主な商業地、住宅地における公示地価の推移を見ると、いずれの地点でも平成20年(2008年)に比べ、下落傾向が続いています。特に、国分駅周辺の都心部(霧島5-1)で40%の減少となっています。

■ 公示地価の推移

区分	商業地						住宅地						(円、%)
	国分中央3丁目56番3	福山町福山字橋木段5348番10外	国分中央5丁目70番6	溝辺町麓字曲迫279番2	牧園町高千穂字龍石3865番42	横川町中ノ字後田280番1	国分城山町3770番15	溝辺町麓字原村1261番15	横川町中ノ字諏訪987番2	牧園町三休堂字下原104番2	隼人町内山田1丁目13番6	福山町福山字橋木段5290番69	
所在地	霧島5-1	霧島5-2	霧島5-3	霧島5-4	霧島5-6	霧島5-8	霧島-2	霧島-4	霧島-6	霧島-9	霧島-10	霧島-12	
調査地点	霧島5-1	霧島5-2	霧島5-3	霧島5-4	霧島5-6	霧島5-8	霧島-2	霧島-4	霧島-6	霧島-9	霧島-10	霧島-12	
2008年	145,000	20,500	74,500	54,800	29,000	31,000	39,000	26,000	19,600	9,500	50,000	18,000	
2018年	87,000	14,400	51,400	37,100	18,800	16,500	27,700	17,200	11,800	7,200	34,000	12,600	
増減率(%)	-40.0	-29.8	-31.0	-32.3	-35.2	-46.8	-29.0	-33.8	-39.8	-24.2	-32.0	-30.0	

資料：土地総合情報システム(国土交通省)

※5 人口集中地区 / 国勢調査において設定される統計上の地区であり、原則として市区町村の区域内で人口密度が4,000人/km<sup>2</sup>以上の基本単位区が互いに隣接して人口が5,000人/km<sup>2</sup>以上となる地区に設定される。

## 2-4 土地利用・開発動向

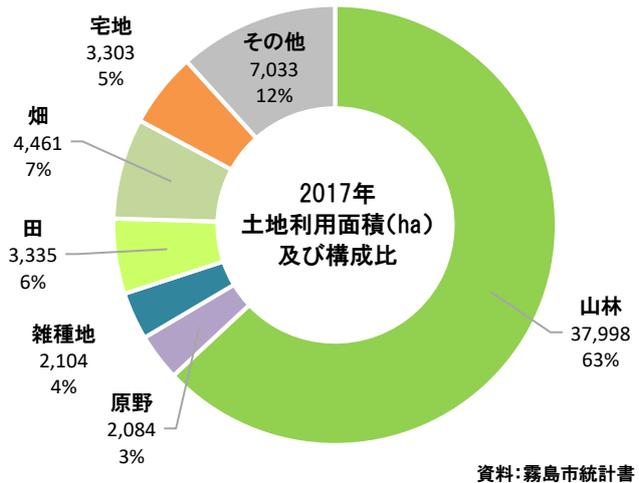
### (1) 土地利用現況

市域では63%が山林であり、農地(田・畑)は13%、宅地は5%となっています。

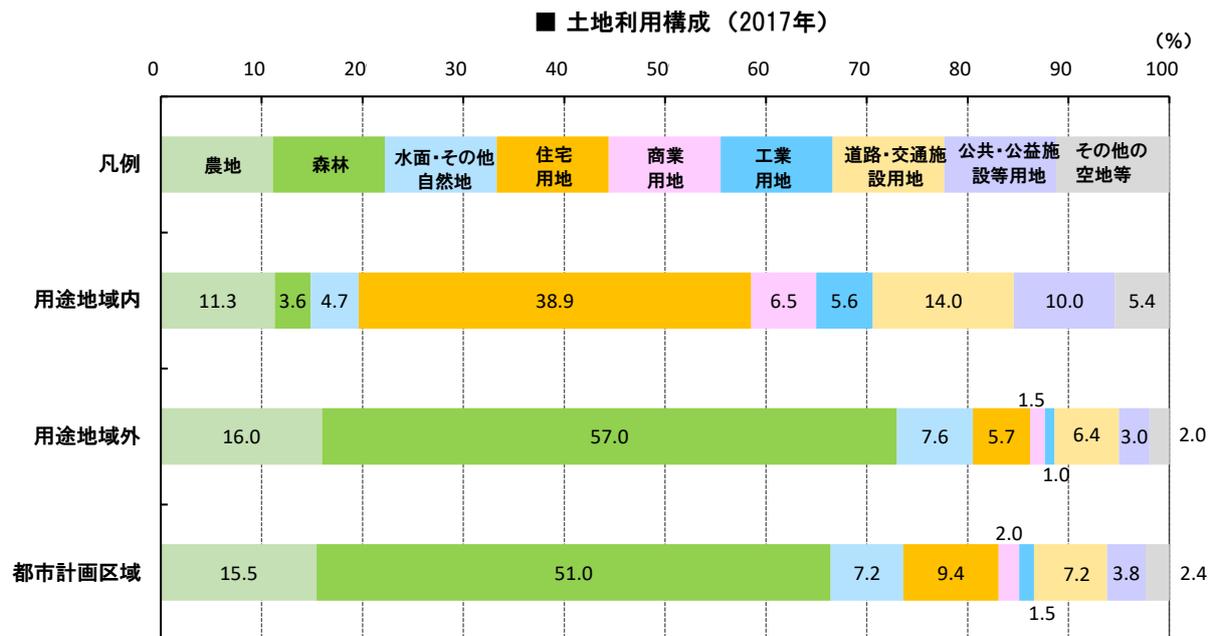
市域の約31%を占める都市計画区域<sup>※6</sup>内では、森林51.0%、農地15.5%と自然的土地利用が3分の2を占めています。

都市計画区域の約1割を占める用途地域<sup>※7</sup>内では、住宅、商業、工業などの都市的土地利用が80.4%を占めています。

都市計画区域の約9割を占める用途地域外においても、都市的土地利用は19.6%を占めています。



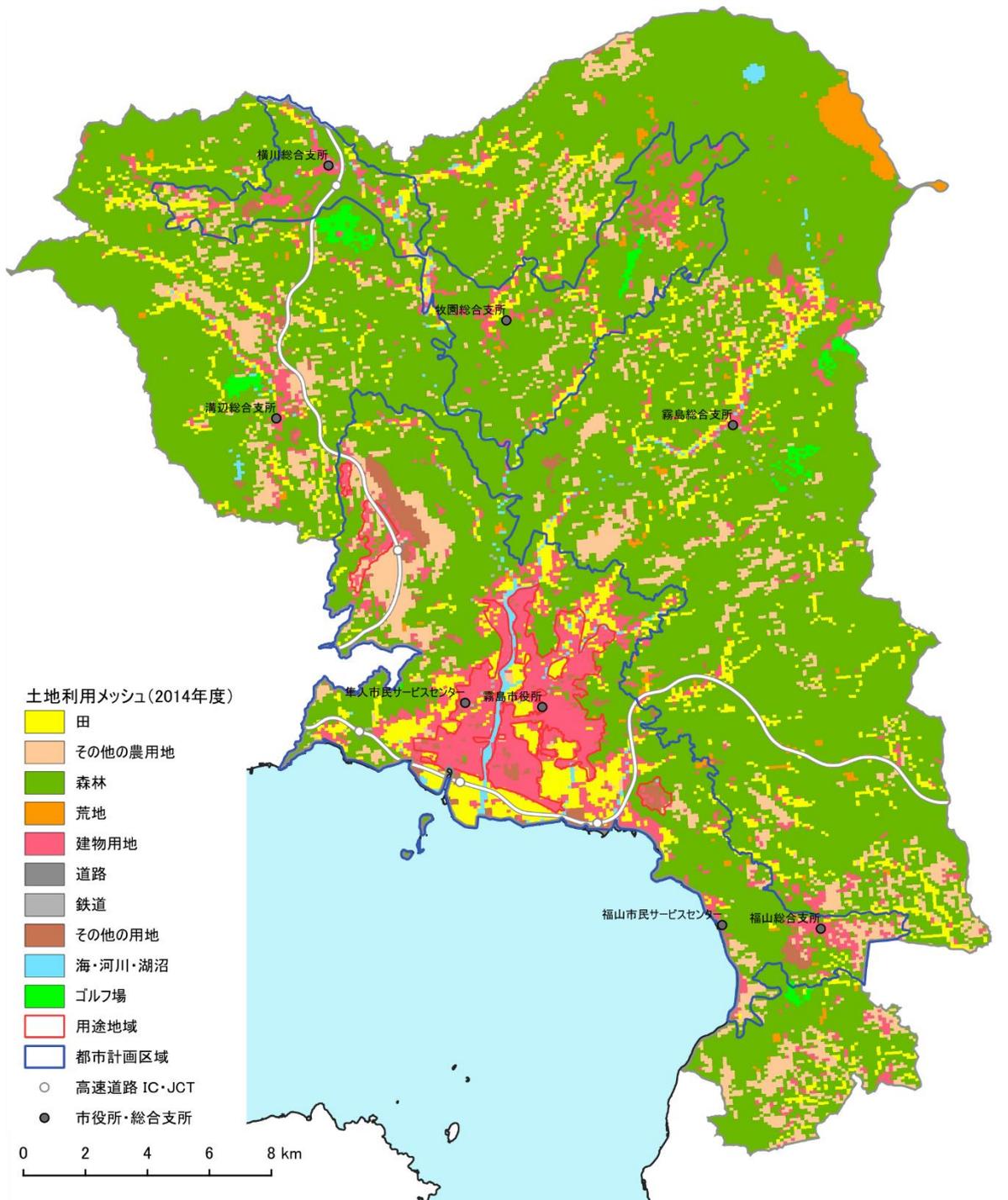
資料:霧島市統計書



資料:都市計画基礎調査(2017年度)

※6 都市計画区域 / 都市計画法やその他の関係法令の適用を受けるべき土地の区域。市街地を含み、かつ、自然的・社会的条件、人口・土地利用・交通量などの現況・推移を勘案して、一体の都市として総合的に整備・開発・保全する必要がある区域が指定される。

※7 用途地域 / 都市計画法に規定された地域地区のうち最も基本となるもので、地域に応じて建築物の用途や高さ等の形態について、一定の制限を定めることにより土地利用を方向づけるもの。霧島市では、国分、溝辺、隼人地域の一部に用途地域が指定されている。



■ 土地利用現況図

資料：国土数値情報 土地利用細分メッシュデータ(国交省)

※「その他の用地」は、空港、運動競技場、野球場、学校、港湾地区等

(2) 農地転用状況

平成25年(2013年)から平成29年(2017年)まで5カ年の農地転用は、2,053件、面積231.46haとなっています。

件数を見ると、宅地が886件と最も多く、次いでその他が784件となっています。

面積を見ると、その他が最も多く、平成26年(2014年)に43.55haと突出しています。次いで宅地、山林が多くなっています。

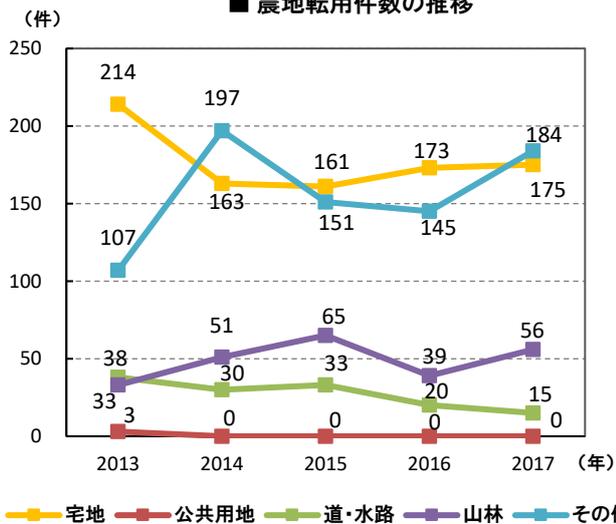
■ 農地転用(2013～2017年の5年間)

年	件数(件)						面積(ha)					
	総数	宅地	公共用地	道・水路	山林	その他	総数	宅地	公共用地	道・水路	山林	その他
2013	395	214	3	38	33	107	47.36	14.51	0.21	1.49	6.21	24.94
2014	441	163	0	30	51	197	63.21	10.01	0.00	0.33	9.23	43.55
2015	410	161	0	33	65	151	37.79	10.15	0.00	0.45	11.14	16.05
2016	377	173	0	20	39	145	44.70	15.89	0.00	0.45	7.11	21.25
2017	430	175	0	15	56	184	38.40	11.29	0.00	0.49	9.50	17.12
計	2,053	886	3	136	244	784	231.46	61.85	0.21	3.21	43.19	122.91

注)「その他」:農林漁業用施設用地、駐車場・資材置き場、太陽光発電等

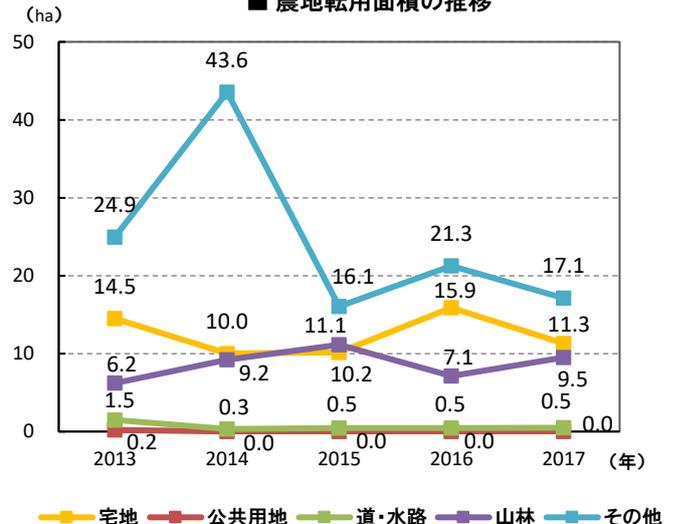
資料:霧島市統計書

■ 農地転用件数の推移



資料:霧島市統計書

■ 農地転用面積の推移



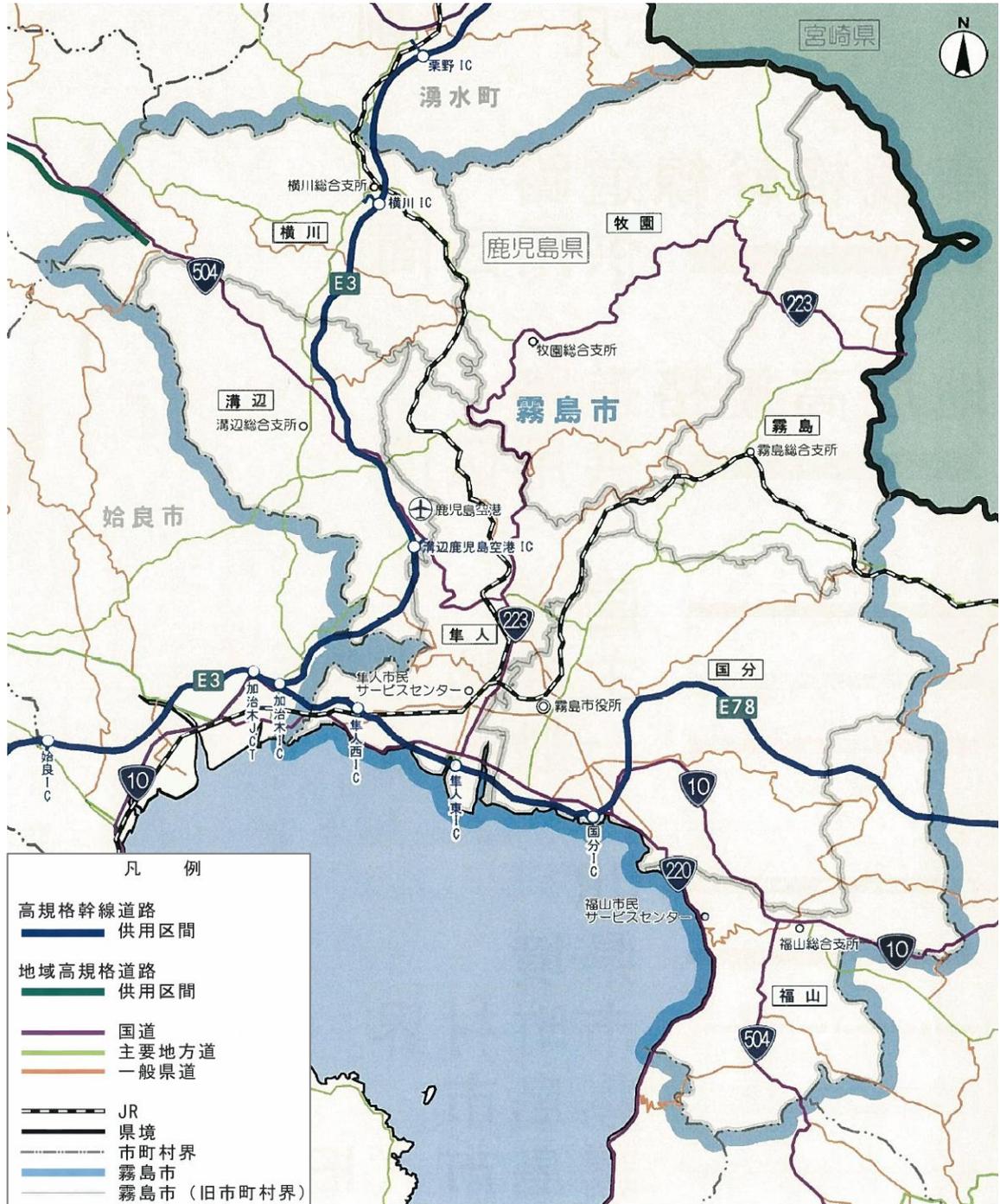
資料:霧島市統計書

## 2-5 都市交通

### (1) 道路ネットワーク

本市には、高規格幹線道路<sup>※8</sup>として、鹿児島市や福岡方面を結ぶ九州縦貫自動車道、本市と始良市を結び国道10号バイパスとなる隼人道路、宮崎方面を結ぶ東九州自動車道の2路線が整備されており、国道の10号、220号、223号、504号の4路線が本市中心部から放射状に伸びています。

また、主要地方道国分霧島線や栗野加治木線等が一般国道を補完するように配置されており、それら主要幹線道路相互や地域拠点をつなぐように一般県道が整備されています。



■ 道路交通網図

資料:霧島市都市計画課

※8 高規格幹線道路 / 自動車の高速交通の確保を図るため必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路。

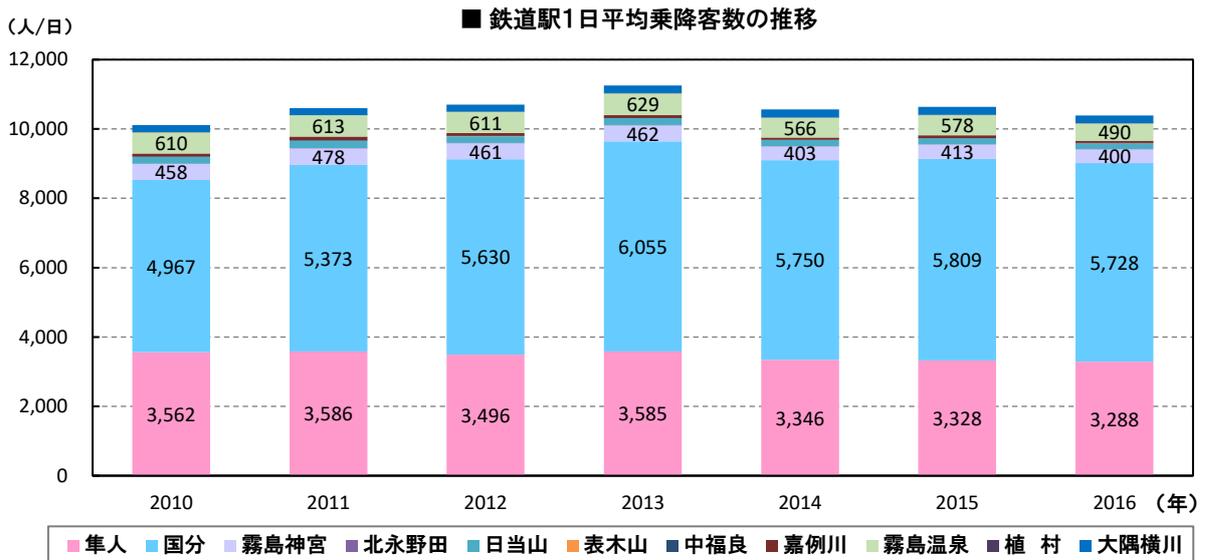
(2) 公共交通ネットワーク

① 鉄道

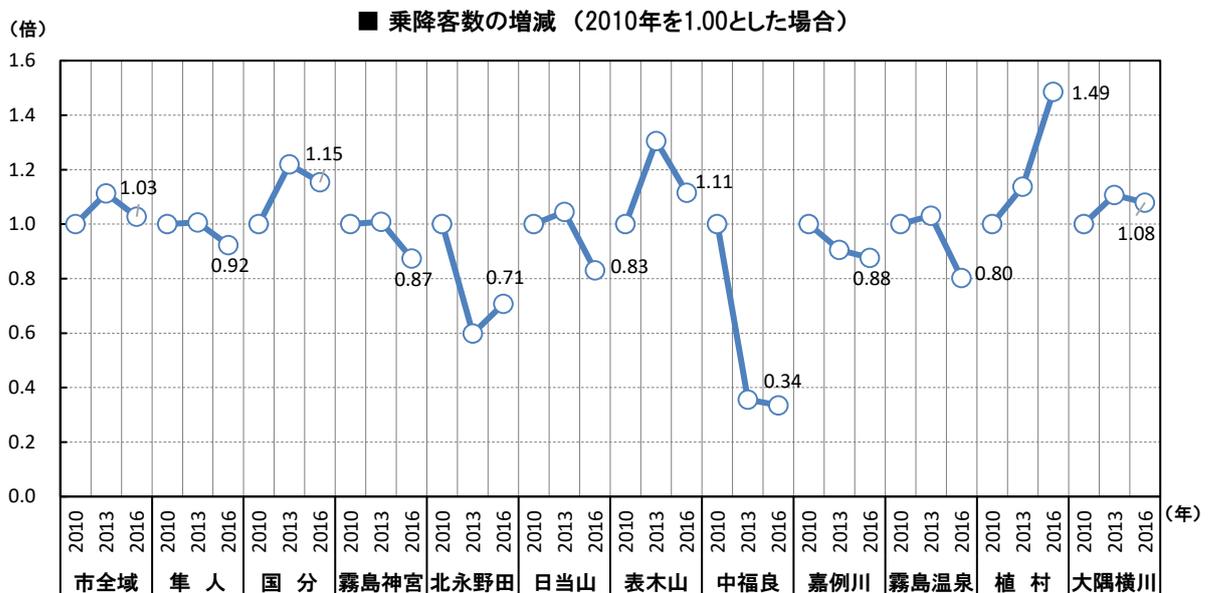
本市にはJR日豊本線及びJR肥薩線に計11箇所の駅が設置されています。

1日平均乗降客数では、国分駅が約5,700人で最も多く、次いで隼人駅の約3,300人となっています。

平成22年(2010年)と平成28年(2016年)の乗降客数を比較すると、市全域では1.03倍とほぼ横ばいの状況です。国分、表木山、植村、大隅横川の4駅では増加していますが、残り7駅では減少傾向にあります。



資料：九州旅客鉄道㈱鹿児島支社



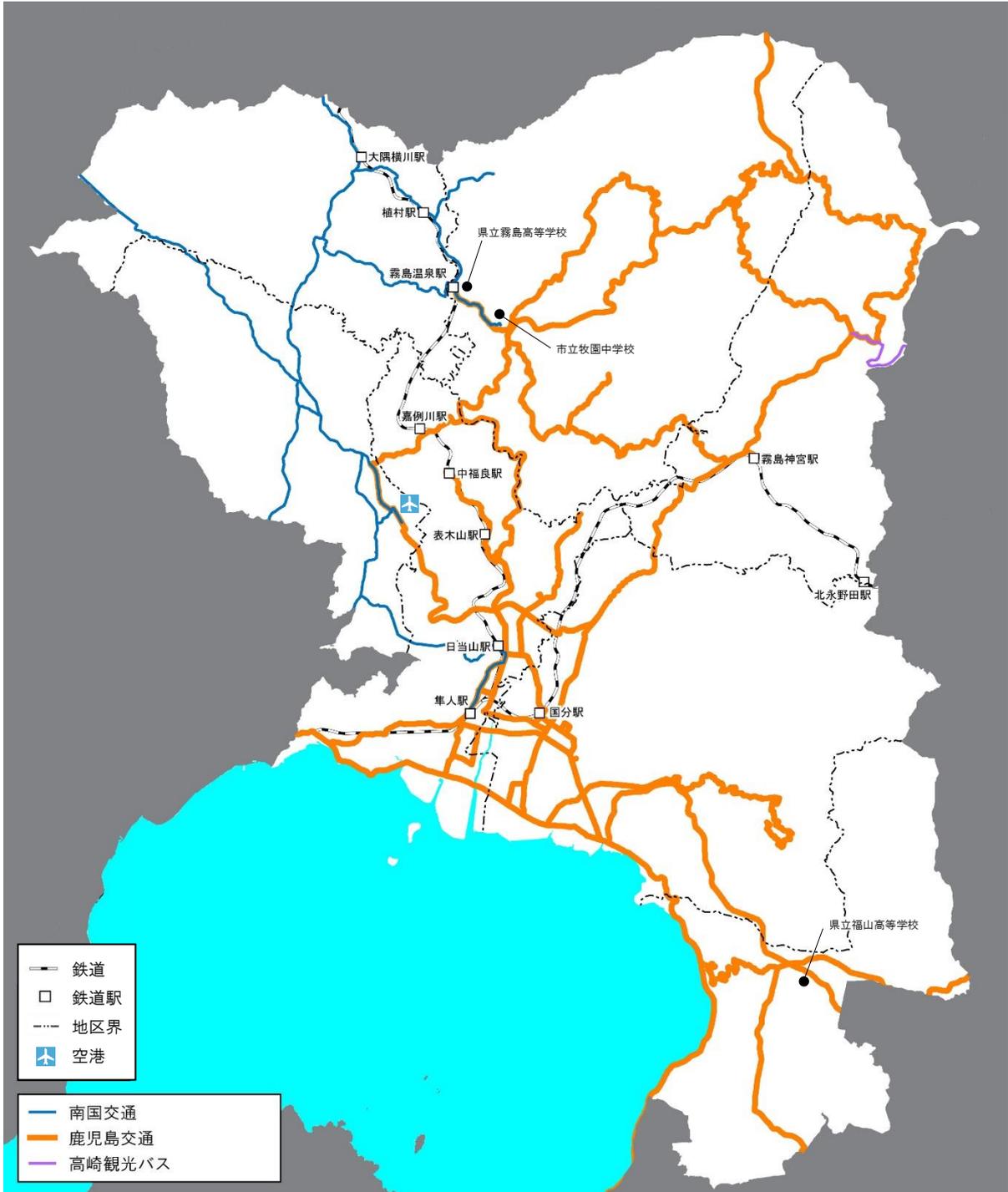
資料：九州旅客鉄道㈱鹿児島支社

②路線バス

市内の路線バスは、主に溝辺、横川地域を南国交通（株）が、国分、隼人、牧園、霧島、福山地域を鹿児島交通（株）が運行しています。また、霧島神宮～都城間を（有）高崎観光バスが運行しています。

主要交通拠点である鹿児島空港、国分駅及び隼人駅と接続する路線が多数運行されています。

県立福山高等学校、県立霧島高等学校及び市立牧園中学校等、児童生徒の通学便としても利用されている路線が多数運行されています。



■ 路線バス運行状況図

資料：霧島市地域公共交通網形成計画(2016年3月)